

# 特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

## 目的

- ①長井市における課題
  - ・ 支援を必要とする保護者、幼保施設との信頼関係の構築
  - ・ 幼保施設の早期からの気づきと対応の確実な引継ぎ
  - ・ 関係部局との連携
- ②課題を踏まえ設定した目的
  - ・ 特別な支援を必要とする子供について、就学前から学齢期まで切れ目ない支援体制を構築すること



## 成果

- ①得られた成果
  - ・ 関係部局、幼保施設との連携による早期からの気づきを「個別の教育支援計画」に記載できるように支援し、小学校へ確実に引き継いだ。
  - ・ 保護者も交えての面談や必要に応じて検査を進めてきたことで、早期対応につながった。面談や発達検査の件数は令和2年度16件、令和3年度18件、令和4年度44件と増加した。
- ②成果を踏まえた今後の取組
  - ・ 引き続き関係部局との連携を大切にしながら、面談や検査等を進めていき、早期発見・早期対応に努める。

## 事業内容

- ①構築した支援体制図
  - ・ 市内すべての幼保施設と幼保小等連携専門員が日常的なかかわりを継続する（絵本の読み聞かせ、給食、相談、検査等）。
  - ・ 健康スポーツ課事業である幼保施設における巡回相談と、学校教育課特別支援教育バックアップ事業の小中学校におけるスクリーニングに幼保小等連携専門員が加わり、幼保小の連携をスムーズにする。
- ②「個別の教育支援計画」などの活用内容
  - ・ 幼保施設での作成の際に、幼保小等連携専門員が関わり、専門的な見地からのアドバイスを行う。
- ③普及啓発内容
  - ・ 切れ目ない支援に関わる資料等を配布する。

【支援体制図】

